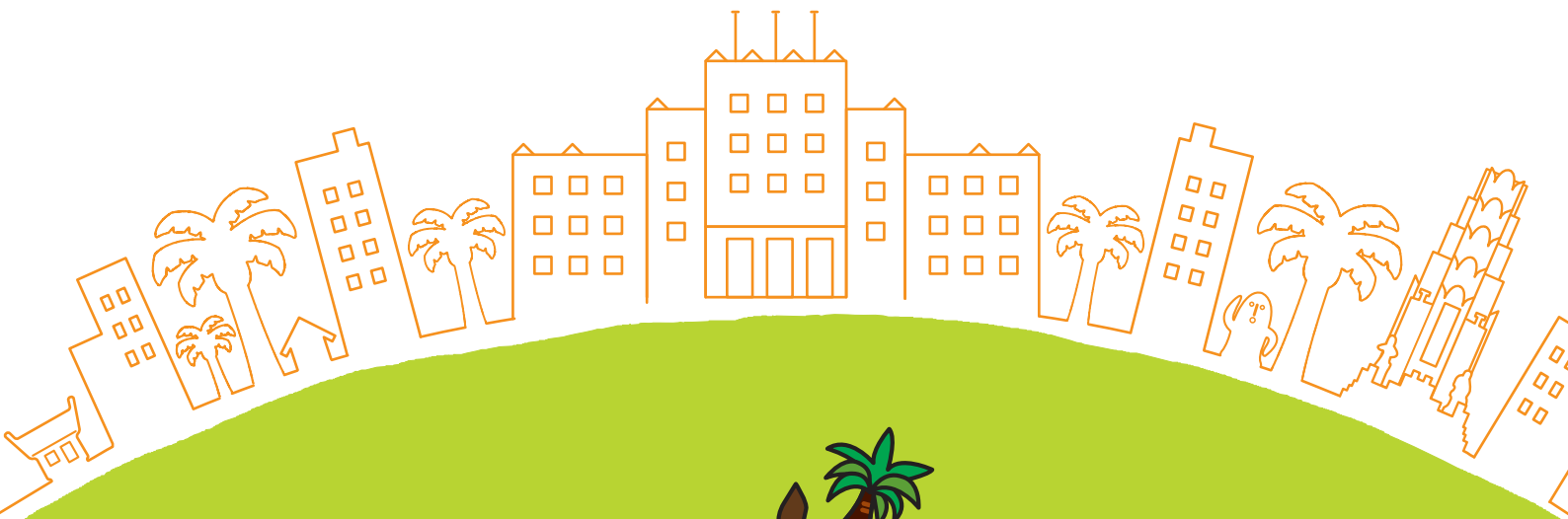


宮崎県 140年のあゆみ



宮崎県
シンボルキャラクター みやぎき犬 びん

置県140年を迎えて

宮崎県知事 河野 俊嗣

明治16年（1883年）5月9日、鹿児島県に併合されていた宮崎県を再配置する布告が出され、宮崎県は、現在の県域をもって新しい歴史を歩み始め、令和5年（2023年）に140年の記念すべき年を迎えました。

ひたすら郷土の発展を願い、不屈の精神で分県運動に全力を尽くされ、今日の宮崎県の礎を築いた「宮崎の父」と敬愛される川越進翁をはじめとする幾多の先人達の御尽力に深く敬意を表するとともに、これまで歩んできた140年の歴史の重みを感じております。

本県はこれまで、農林水産業や商工業など産業の振興、道路・空港・港湾施設等のインフラ整備、医療・福祉対策など県民生活に関わる様々な課題に加え、台風や口蹄疫など数々の災害、さらには近年の新型コロナウイルス感染症への対応等、多くの困難に直面してきましたが、県民の皆様をはじめ、企業、関係団体、行政などが力を合わせてこれらの難局を乗り越え、今日の宮崎県の姿を築いてまいりました。

また、脈々と引き継がれてきた歴史の中で、より良い宮崎を創造するための県民の皆様のため努力と、絆を大切にすする穏やかで優しい県民性によって、全国に誇れる素晴らしい魅力が育まれてきたものと感謝しております。

置県40年の節目に当たり、あらためて地域の宝を見つめ直し、郷土への誇りや愛着を深める機会にするとともに、宮崎ならではの貴重な資源を生かしながら、各地域の活性化や更なる県勢発展に向け県民の皆様とともに取り組んでまいります。

安心と希望あふれる本県の未来に向け、今後とも県民の皆様のご理解と御協力をお願いいたします。



県旗

(昭和39年12月22日制定)



この旗は、県のシンボルであるみどり（緑）と太陽（黄色）をあらわし、宮崎のミをかたちどり、段階をふんで高まる県の躍進の姿をあらわしています。昭和38年が、明治16年に宮崎県が再置されてから80年になることから、置県80周年を記念して、県民の皆さんから公募した結果、決まりました。

県章

(明治45年1月14日制定)



「日向」の文字、つまり宮崎県をあらわしたもので「日」を中心に「向」が三方にのびて、躍進する県の姿を示しています。

宮崎県のシンボル

宮崎県の情報

都市公園面積 (人口1人当たり) 17.71㎡ <全国3位> 全国 10.12㎡ 国土交通省 令和2年3月31日	日照時間 2,122時間 <全国6位> 気象庁「観測平年値(1991~2020)」 令和2年	県民所得 (1人当たり) 2,426千円 <全国46位> 1人当たり国民所得3,181千円 内閣府 令和元年度	人口 1,070千人 <全国35位> 全国 126,146千人 総務省「国勢調査」 令和2年10月1日
保有自動車数 (人口千人当たり) 897.5台 <全国7位> 全国 654.8台 一般財団法人自動車検査登録情報協会「自動車保有台数」 令和4年3月31日	林業産出額 372億円 <全国4位> 全国 4,839億円 農林水産省 令和3年	農業産出額 3,478億円 <全国4位> 全国 88,600億円 農林水産省 令和3年	合計特殊出生率 1.64 <全国3位> 全国 1.30 厚生労働省 令和2年

県の鳥



コシジロヤマドリ

県の花



はまゆう

県の木



フェニックス



オビスギ



ヤマザクラ

宮崎県140年のあゆみ

県勢の発展と充実

- ←2000年
- 22 [令和4] 宮崎カーフェリー 新船就航
- 22 [令和4] 第12回全国和牛能力共進会で4大会連続の内閣総理大臣賞受賞
- 20 [令和2] 新県立宮崎病院開院
- 19 [平成31] 防災庁舎の完成
- 19 [令和3] 防炎庁舎の完成
- 16 [平成28] 東九州自動車道宮崎市～北九州市間全線開通
- 15 [平成27] 高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定
- 15 [平成27] 第18回全国農業担い手サミットみやざき
- 15 [平成27] 第26回全国「みどりの愛護のつどい」
- 11 [平成23] みやざき県シンボルキャラクター「みやざき大」誕生
- 11 [平成23] 新燃岳が噴火
- 11 [平成23] 高病原性鳥インフルエンザ発生
- 10 [平成22] 口蹄疫発生～終息宣言
- 08 [平成20] 宮崎～台北国際定期便運航開始
- 05 [平成17] 第59回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」
- 04 [平成16] 第55回全国植樹祭（西都市）
- 03 [平成15] 宮崎大学と宮崎医科大学が統合
- 03 [平成15] 県立産業技術専門学校開校
- 00 [平成12] 九州・沖縄サミット 宮崎外相会合
- 00 [平成12] 細島港国際ターミナル供用開始
- 00 [平成12] 宮崎～ソウル国際定期便運航開始
- 99 [平成11] 第16回全国都市緑化みやざきフェア 太平洋・島サミット
- 99 [平成11] 九州縦貫自動車道 宮崎線全線開通
- 97 [平成9] 県立看護大学開学
- 96 [平成8] 日向灘地震
- 96 [平成8] J-R宮崎空港連絡鉄道開通
- 95 [平成7] 九州縦貫自動車道 宮崎線全線開通
- 95 [平成7] 第15回全国豊かな海づくり大会（油津港）
- 94 [平成6] フォレストピア学びの森学校開校
- 93 [平成5] 宮崎学園都市完成
- 88 [昭和63] 宮崎白南海岸リゾート構想リゾート法第1号指定
- 87 [昭和62] 宮崎港が開港
- 86 [昭和61] 第10回全国育樹祭（小林市夷守台）
- 83 [昭和58] 「新ひむかづり運動」県民会議発足
- 83 [昭和58] 置泉100年記念式典
- 81 [昭和56] 九州縦貫自動車道 宮崎線全線開通
- 76 [昭和51] 九州縦貫自動車道 宮崎線えびの～高原間開通
- 75 [昭和50] 日本初のサブマリナ「宮崎サブマリナ」開園
- 75 [昭和50] 土呂久鉱害提訴
- 74 [昭和49] 宮崎医科大学開学
- 73 [昭和48] 第24回全国植樹祭（小林市夷守台）
- 72 [昭和47] 九州縦貫自動車道 宮崎線着工
- 72 [昭和47] 県農業大学校開校
- 71 [昭和46] 宮崎カーフェリー就航（細島～川崎）
- 71 [昭和46] 日本カーフェリー就航（細島～川崎）
- 68 [昭和43] 細島工業港に15,000トン公共岸壁完成
- 68 [昭和43] えびの地震
- 66 [昭和41] 宮崎空港 地方空港として初のジェット化
- 64 [昭和39] 宮崎空港 地方空港として初のジェット化
- 64 [昭和39] 県の花・鳥を制定
- 60 [昭和35] 農業後継者づくりを目的としたSAP運動開始
- 60 [昭和35] 日向・延岡地区を新産業都市に指定
- 59 [昭和34] 新燃岳が噴火（1821年以来138年ぶり）
- 54 [昭和29] 宮崎空港開港（極東航空三現全日空ローカル線）
- 54 [昭和29] 航空大学校開校
- 51 [昭和26] 石河内第1発電所完成
- 49 [昭和24] 宮崎大学が農・学芸・工の3学部で開学
- 47 [昭和22] 6・3・3・4制の教育開始
- 47 [昭和22] 地方自治法による第1回知事市町村長選挙
- 45 [昭和20] 県内各地で米騒ぎによる初の空襲
- 42 [昭和17] 宮崎県で天然痘発生 患者50人以上
- 41 [昭和16] 国民学校の発足
- 40 [昭和15] 日向建国博覧会（紀元2600年）
- 40 [昭和15] 八幡之基柱
- 37 [昭和12] 祖國振興隊結成
- 32 [昭和7] 新県庁舎完成
- 27 [昭和2] 小森大火1198棟焼失
- 23 [大正10] 国鉄日豊本線全線開通
- 21 [大正9] 県立宮崎病院開院
- 20 [大正9] 第1回国勢調査実施
- 18 [大正7] 宮崎県公報第1号発行
- 13 [大正2] 県営鉄道営業開始
- 89 [明治22] 町村制施行・県下100町村
- 89 [明治22] 宮崎県立尋常中学校開校
- 85 [明治18] 宮崎県師範学校開校
- 83 [明治16] 宮崎県の再置・宮崎県庁開庁
- 77 [明治10] 西南戦争
- 76 [明治9] 鹿兒島県へ併合
- 74 [明治7] 宮崎学校の設立
- 73 [明治6] 初期宮崎県の設置
- 71 [明治4] 美々津県・都城県の設置
- 71 [明治4] 廃藩置県

高度経済成長

- 79 [昭和54] 第15回全国身体障害者スポーツ大会
- 79 [昭和54] 第34回国民体育大会（宮崎大会）
- 74 [昭和49] ダンロップフェニックストーナメント始まる
- 70 [昭和45] UMKテレビ宮崎開局
- 60 [昭和35] FMKラジオ宮崎 テレビ放送開始
- 60 [昭和35] NHK宮崎放送局 テレビ放送開始
- 59 [昭和34] 読売巨人軍 宮崎キャンプ始まる
- 59 [昭和34] 県立図書館全焼
- 52 [昭和27] 西都原古墳群 特別史跡指定
- 54 [昭和29] FMKラジオ宮崎（現・MRT宮崎放送）開局
- 40 [昭和15] 日向日日新聞（現宮崎日日新聞）創刊

戦後復興と新時代

- 79 [昭和54] 第15回全国健康福祉祭みやざき大会
- 96 [平成8] 第9回全国健康福祉祭みやざき大会
- 96 [平成8] 第1回宮崎国際室内音楽祭
- 95 [平成7] 県総合文化公園グランドオープン
- 93 [平成5] 第10回世界ベテランズ陸上競技選手権大会
- 92 [平成4] 全国高等学校総合体育大会
- 90 [平成2] ゴールデンゲームズinのへおが始まる
- 84 [昭和59] FM宮崎開局

近代化の波

- 40 [昭和15] 日向日日新聞（現宮崎日日新聞）創刊
- 52 [昭和27] 西都原古墳群 特別史跡指定
- 54 [昭和29] FMKラジオ宮崎（現・MRT宮崎放送）開局

宮崎県誕生のあゆみ

- 71 [明治4] 廃藩置県
- 71 [明治4] 美々津県・都城県の設置
- 73 [明治6] 初期宮崎県の設置
- 74 [明治7] 宮崎学校の設立
- 76 [明治9] 鹿兒島県へ併合
- 77 [明治10] 西南戦争
- 83 [明治16] 宮崎県の再置・宮崎県庁開庁
- 85 [明治18] 宮崎県師範学校開校
- 89 [明治22] 宮崎県立尋常中学校開校
- 89 [明治22] 町村制施行・県下100町村
- 13 [大正2] 県営鉄道営業開始
- 18 [大正7] 宮崎県公報第1号発行
- 20 [大正9] 第1回国勢調査実施
- 21 [大正9] 県立宮崎病院開院
- 23 [大正10] 国鉄日豊本線全線開通
- 27 [昭和2] 小森大火1198棟焼失
- 32 [昭和7] 新県庁舎完成
- 37 [昭和12] 祖國振興隊結成
- 40 [昭和15] 日向建国博覧会（紀元2600年）
- 40 [昭和15] 八幡之基柱
- 41 [昭和16] 国民学校の発足
- 42 [昭和17] 宮崎県で天然痘発生 患者50人以上
- 45 [昭和20] 県内各地で米騒ぎによる初の空襲
- 47 [昭和22] 6・3・3・4制の教育開始
- 47 [昭和22] 地方自治法による第1回知事市町村長選挙
- 49 [昭和24] 宮崎大学が農・学芸・工の3学部で開学
- 51 [昭和26] 石河内第1発電所完成
- 54 [昭和29] 宮崎空港開港（極東航空三現全日空ローカル線）
- 54 [昭和29] 航空大学校開校
- 59 [昭和34] 新燃岳が噴火（1821年以来138年ぶり）
- 60 [昭和35] 農業後継者づくりを目的としたSAP運動開始
- 60 [昭和35] 日向・延岡地区を新産業都市に指定
- 64 [昭和39] 宮崎空港 地方空港として初のジェット化
- 64 [昭和39] 県の花・鳥を制定
- 66 [昭和41] 宮崎空港 地方空港として初のジェット化
- 68 [昭和43] えびの地震
- 68 [昭和43] 細島工業港に15,000トン公共岸壁完成
- 71 [昭和46] 日本カーフェリー就航（細島～川崎）
- 71 [昭和46] 宮崎カーフェリー就航（細島～神戸）
- 72 [昭和47] 九州縦貫自動車道 宮崎線着工
- 72 [昭和47] 県農業大学校開校
- 73 [昭和48] 第24回全国植樹祭（小林市夷守台）
- 74 [昭和49] 宮崎医科大学開学
- 75 [昭和50] 日本初のサブマリナ「宮崎サブマリナ」開園
- 75 [昭和50] 土呂久鉱害提訴
- 76 [昭和51] 九州縦貫自動車道 宮崎線えびの～高原間開通
- 81 [昭和56] 九州縦貫自動車道 宮崎線全線開通
- 83 [昭和58] 置泉100年記念式典
- 83 [昭和58] 「新ひむかづり運動」県民会議発足
- 86 [昭和61] 第10回全国育樹祭（小林市夷守台）
- 87 [昭和62] 宮崎港が開港
- 88 [昭和63] 宮崎白南海岸リゾート構想リゾート法第1号指定
- 93 [平成5] 宮崎学園都市完成
- 94 [平成6] フォレストピア学びの森学校開校
- 95 [平成7] 九州縦貫自動車道 宮崎線全線開通
- 95 [平成7] 第15回全国豊かな海づくり大会（油津港）
- 96 [平成8] J-R宮崎空港連絡鉄道開通
- 96 [平成8] 日向灘地震
- 97 [平成9] 県立看護大学開学
- 99 [平成11] 第16回全国都市緑化みやざきフェア 太平洋・島サミット
- 00 [平成12] 九州・沖縄サミット 宮崎外相会合
- 00 [平成12] 細島港国際ターミナル供用開始
- 00 [平成12] 宮崎～ソウル国際定期便運航開始
- 03 [平成15] 宮崎大学と宮崎医科大学が統合
- 03 [平成15] 県立産業技術専門学校開校
- 04 [平成16] 第55回全国植樹祭（西都市）
- 05 [平成17] 第59回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」
- 08 [平成20] 宮崎～台北国際定期便運航開始
- 10 [平成22] 口蹄疫発生～終息宣言
- 11 [平成23] 高病原性鳥インフルエンザ発生
- 11 [平成23] 新燃岳が噴火
- 11 [平成23] みやざき県シンボルキャラクター「みやざき大」誕生
- 15 [平成27] 第18回全国農業担い手サミットみやざき
- 15 [平成27] 第26回全国「みどりの愛護のつどい」
- 15 [平成27] 高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定
- 16 [平成28] 東九州自動車道宮崎市～北九州市間全線開通
- 19 [平成31] 「みやざき林業大学校」開講
- 20 [令和2] 防炎庁舎の完成
- 22 [令和4] 新県立宮崎病院開院
- 22 [令和4] 宮崎カーフェリー 新船就航
- 22 [令和4] 第12回全国和牛能力共進会で4大会連続の内閣総理大臣賞受賞

郷土の先覚者

P.31

【目次】

P.5

P.15

P.17

P.19

P.23

スポーツ・文化の発信

P.27



- ←2000年
- 22 [令和4] 「五ヶ瀬の荒跡」ユネスコ無形文化遺産登録決定
- 21 [令和3] 国文祭・芸文祭みやざき2020
- 21 [令和3] 海外代表チーム事前合宿
- 21 [令和3] 東京2020オリンピックピックパラリンピック
- 21 [令和3] 東京2020オリンピックピック聖火リレー
- 19 [令和2] ランバード代表公認チームキャンプ
- 19 [令和2] 2019 ISAWワールドサーフィンゲームス
- 19 [令和2] 日本代表事前チームキャンプ
- 19 [令和2] ランバードワールドカップ2019
- 18 [平成30] 南国宮崎の古墳景観（西都市宮崎市新富町）
- 17 [平成29] 相母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録決定
- 14 [平成26] 第6回IBAF女子野球ワールドカップ2014 宮崎大会
- 10 [平成22] 第34回全国高等学校総合文化祭
- 09 [平成21] 読売巨人軍宮崎キャンプ50周年
- 08 [平成20] 第22回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクみやざき2009」
- 06 [平成18] 2006年フットボールワールドカップ
- 04 [平成16] 県立西都原考古博物館開館
- 02 [平成14] 2002サッカーワールドカップ ドイツ・スウェーデン代表チームキャンプ
- 01 [平成13] 日本スポーツマスターズ2001 宮崎大会
- 01 [平成13] 新県営野球場「サンマリナスタジアム宮崎」オープン
- 96 [平成8] 第9回全国健康福祉祭みやざき大会
- 96 [平成8] 第1回宮崎国際室内音楽祭
- 95 [平成7] 県総合文化公園グランドオープン
- 93 [平成5] 第10回世界ベテランズ陸上競技選手権大会
- 92 [平成4] 全国高等学校総合体育大会
- 90 [平成2] ゴールデンゲームズinのへおが始まる
- 84 [昭和59] FM宮崎開局
- 79 [昭和54] 第15回全国身体障害者スポーツ大会
- 79 [昭和54] 第34回国民体育大会（宮崎大会）
- 74 [昭和49] ダンロップフェニックストーナメント始まる
- 70 [昭和45] UMKテレビ宮崎開局
- 60 [昭和35] FMKラジオ宮崎 テレビ放送開始
- 60 [昭和35] NHK宮崎放送局 テレビ放送開始
- 59 [昭和34] 読売巨人軍 宮崎キャンプ始まる
- 59 [昭和34] 県立図書館全焼
- 52 [昭和27] 西都原古墳群 特別史跡指定
- 54 [昭和29] FMKラジオ宮崎（現・MRT宮崎放送）開局
- 40 [昭和15] 日向日日新聞（現宮崎日日新聞）創刊

